

ブランド価値の創造と しなやかな ネットワークづくり



まちづくり&異業種ネットワーク
なにわ名物開発研究会
代表幹事 野杵 育郎

7月28日「なにわの日」が、なにわ名物開発研究会の設立日。今年で満7年になります。「よお続いたもんやね」と、お褒めの言葉をいただいたりすると、またやる気百倍となります。

さて、ことしのキーワードは「ブランド」「成功事例」「誇りと自信」。とりわけ「OSAKA BRAND」は、なにわ名物開発研究会が先鞭をつけ、大阪のさまざまなところから同時に湧きあがってきた感があります。ブランド価値の創造を、私たちのまちの「価値」ネウチをあげていく活動をさらに続けていきます。

そして、「成功体験」をあちこちで実

践させていきましょう。ユニークなお店や素敵な界限、あつと驚く観光施設、おいしい料理屋さん……。いま、成功事例をつくりあげている地域は、「組織」や「タテ系のしくみ」に頼らない動きがあり、その連携は自由でしなやかなネットワークです。頑張る人が、頑張る人たちを集めている。ひとつの店や施設、界限がまちづくりを自然とリードしている。一見、それは気ままな流れのように見えて、実は仕掛人たちがいるのです。同時に、外からきたプロデューサー、コンセプター、アーティスト、デザイナー……とともに、地域に根ざし愛する人が存在して共同作業に取り組むことが不可欠です。

もう一つ忘れてはならないのが「誇りと自信」。過信や「惚れはあきませんが、理念や夢・ビジョンを持つて取り組んでいる自分自身に自信を持ち、いま、そして未来へと誇れる行動をとり続けたいと思います。

「大阪を元気にする
ために、なにわ名物開発研究会はがんばります！」



なにわ名物 開発研究会 NEWS

<第11号>

2003年5月23日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0076

大阪市中央区難波1-7-2

SENOYAビル3F

TEL・FAX 06-6213-5554

<http://www.naniwa-meibutsu.com/>

第5回 なにわ大賞 結果報告

大阪固有の「地域資源」の発見と掘り起こしを目指し、ユニークな活動をしている個人や団体を発見するなにわ大賞。平成14年5月3日から7月28日の期間に集まった応募の中から3次選考を経て各賞が決定した。第6回も募集中(詳細は3ページに。)

■大賞

OSK日本歌劇団 大曾根利彦

1922年に「松竹楽劇部」として設立。千日前「大劇」を本拠地として「春の踊り」で人気を博した。笠置シズ子、京マチ子さんら多くのスターを輩出。近年は「あやめ池」に本拠を移して、宝塚とともにシヨールビジネス界を支えてきた。ミナミ、大阪の大衆に支えられてきた文化の灯がまた一つ消える事を、惜しむ人は多い。

■準大賞

井村身恒―オダサク倶楽部主宰
関西文学会員

八老劇団―主宰・浜田澄子

■特別賞

北山澄夫・登美子―農業

元山裕康―日本鳥学会、日本鳥類

保護連盟、日本野鳥の会所属

井上 彰―街活紙「あるつく」編集長

田中克明―「ゆめいろミュージアム」

館長

山岡金属工業株式会社―

社長・山岡俊夫

■(財)大阪21世紀協会特別賞

西本智実―ロシア国立ボリジョイ交響

楽団主席指揮者

(敬称略)

7月度(2002年7月28日)

発表
第5回なにわ大賞

湊町リバープレイス「RIVER CAFE」で第5回なにわ大賞の発表、贈呈式と記念パーティーが行われました。参加者は約85名。今年も作家の難波利三さんを選考委員長に3回の選考を経て各賞が決定しました。(詳細は1ページに)



6月度(2002年6月27日)

大阪が誇れる文化
上方浮世絵

第4回なにわ大賞受賞後、当研究会に入会された高野征子さんが館長をつとめる「上方浮世絵館」を見学。館長と学芸員の山本さんのお話(上方浮世絵の歴史について等)を聞きながら流れるような幻想的なひとときを過ごしました。
終了後は法善寺横丁の「正弁丹亭」での懇親会で賑わいました。(この後、9月の中座火災で被災をされました。現在復興へ向けて7合目、がんばってください)

5月度(2002年5月28日)

大阪の
集客戦略とは



道頓堀ホテルにて開催。「特別講演会」と「ネットワークパーティー」には会員、来賓、オブザーバーなどが参加。講師の堀川紀年先生(阪南大学副学長・日本観光研究学会常務理事)による「大阪の集客都市戦略」をテーマにした講演では、観光ビッグバンを見据えた大阪の都市戦略の大切さを再認識させられました。

名物開発研究会



10月度(2002年10月25日)

吉本キーホルダーの
仕掛人、参上!

エル・おおさか(大阪府立労働センター)にて、ゲストスピーカーに笑福亭仁幹さんを迎えて講演、懇親会を行いました。
仁幹さんの笑いあり、苦勞ありの話聴けて、企業家として「ためになる時間」を過ごせました。



9月度(2002年9月13日)

言いたい放題
聴き放題!!



天満橋 OMM 会議室にて、会員交流部会主宰のデイスカッションを行いました。
名刺交換会、自社企業のPRタイムもあり、なにわらしい充実した会となりました。

8月度(2002年8月9日)

恒例
サマービアパーティー

リバープレイスそばのLogicにて、恒例となったビアパーティーを開催しました。しばし暑さを忘れ、楽しいひとときを過ごせました。



12月度(2002年12月26日)

大阪といえば
やっぱりたこ焼き



道頓堀ネットを主宰して、たこ焼きCDをプロデュースした上谷信幸さん(ハウスクラブカンパニー代表)を招いての月例会。大阪市立難波市民学習センターにて行いました。
CDから誕生したたこ焼き君キャラクター「TACOBBO」の展開案を相談に、研究会に持ってこられました。この後、Tシャツやキーホルダー、携帯電話のストラップなど数点が商品化されました。

11月度(2002年11月26日)

外から見た
OSAKA

道頓堀ホテルにて「大阪弁探検隊『外から見たOSAKAあれこれ』」という演題で講演会を行いました。
講師はボン・フェイ氏(中国上海生まれ、大阪市大文学部博士号取得、京都外国語大学助教授)。具体的な事例を交えての面白い話で、あっという間に時間が過ぎた月例会でした。

阪弁探検隊
なにわ名物開発研究会



3月度(2003年3月19日)

大阪のこれからあるべき姿とは

大阪商工会議所内6Fの「ニューコクサイ」にて、ゲストスピーカーは成松孝さん(NPO法人 長堀21世紀計画の会理事長)。

成松さんは「おしゃれな大人の散歩まち」をテーマに着実に、御堂筋・長堀地区のまちづくりに取り組んでこられました。南船場界隈の現在の活況、アジア最大のブランドストリート、地下鉄開通など、ビジョンを現実にしてきた活躍に脱帽。

2月度(2003年2月26日)

本業はチンドン 趣味が弁護士

大阪市立難波市民学習ルームにて「チンドン 仲井のなにわ法律相談室」本日のみ開業が開かれました。講師は当会の会員でもある肥後橋法律事務所の仲井敏治弁護士。

会員の身近な法律相談に、仲井弁護士の名解答。おもしろい事例を交えて、腹を抱えて笑いながらも大変役に立った「法律相談室」でした。

1月度(2003年1月28日)

2003年も頑張ろう 新年互礼会

研究会始まって以来の「初詣つき新年会」。難波の八坂神社の藤枝宮司は「なにわ大賞贈呈式」にも出席された研究会メンバーの方。

懇親会は、蓬萊パンチャン551にて楽しく賑やかに開催。名物人間ビンゴで大いに盛り上がりました。



4月度(2003年4月22日)

良い汗流した 恒例のボーリング大会

今年本命の吉里氏をおさえた「近江八幡和船観光協同組合」の高西正さんが見事優勝を勝ち取りました。

昨年からの因縁の対決、N代表とH事務局長は、今年もH事務局長の優勢勝ちとなりました。(もともと順位は最下位から2番目と3番目でしたが...)

その後の懇親会では、ゲーム大会もあり、みな日頃の疲れを忘れて大いに盛り上がりました。

第32回「中之島まつり」

例年になく好天のもと中之島まつりが開催され、「なにわ名物開発研究会」も出展いたしました。

今回は例年に加えOSK存続を訴える署名活動やチャンバラ武蔵さんのパフォーマンスなど「文化・いちびり・なにわ」に満ちた三日間となりました。



第6回 なにわ大賞

大賞20万円/準大賞5万円

大阪一のいちびりを今年も募集しています。

「いちびり」とは、競り市で手を振って値の決定をとりしきる事、またはそのとりしきる人の事をいう「市振り」が語源で、転じて物事のリーダーシップをとる事やその人のことを言います。

わたしたちは、大阪の「文化」「歴史」「芸能」「アート」「まちづくり」などについてユニークな活動をしている大阪在住の個人・グループを探しています。自薦・他薦は問いません。どしどし応募ください。ただし、選考の都合上、一枚のはがきに一人または一グループのみご記入ください。待っています。※ご応募の中から抽選で「なにわ名物セット」プレゼント!

■応募方法/官製はがきにあなたが推薦する個人、あるいはグループの名前、その簡単な活動内容について書き、あなたの連絡先(郵便番号、住所、氏名、年齢、ご職業、電話番号)をご記入の上、なにわ名物開発研究会事務局までお送りください。

■審査/難波利三選考委員長をはじめ学識者を含む「なにわ大賞選考委員会」による厳正な選考により決定します。

(ノミネートされた個人・グループについての詳しい活動内容を知りたいに写真・ビデオなどの関連資料のご提供をお願いします)

締め切り/平成15年6月30日(月)(当日消印有効)

■応募先/54010029
大阪市中央区本町橋2-23
第7松屋ビル623
なにわ名物開発研究会
事務局 TEL06-694715260

■発表/平成15年7月28日(月)
なにわの日



新入会員紹介

<正会員>

- (株) 戎大黒本舗
堀川弘通 菓子製造業
- (株) ティー・アイ・シー
戸田昌義 不動産の賃貸、管理、売買
- 川島印刷(株)
川島秀起 印刷紙器
- (有) アド・ピーシー
菊池章司 広告代理店
- (有) フバスグループジャパン
上山博和 飲食業
- (株) 粟新
向井祥三 菓子製造業
- (株) エー・ティ・エー
浦木英一 広告宣伝
- グローバルジャパン
尹慈明 生命保険代理店
- (株) 天浅製麺所
西山佳男 食品製造業(麺類)
- (株) 道頓堀スタジオジャパン
野杵育郎 大阪発土産品企画販売
- 大阪くじら文化協会
岩崎靖孝
- <個人会員>
- 鑑誠司 栄和(株)
- 田中浩三 トゥーヴィー
- 杉山ナル美
- 高西正
- 石川史雄 (有) 経営支援オフィス
B・A・N

部会活動などにお使い下さい。

なにわ名物開発研究会の事務所が増えました。国際集客都市・大阪のシンボルとなる「なにわ名物」を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせに、またイベントの備品整理の場にお使いください。

- 本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
tel・fax (06) 6213-5554
- 事務局(会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル623
tel (06) 6947-5260

FROM部会

総務部会

次のような活動を主にを行っています。

- 1 事務局との相互サポートの充実・強化
- 2 総会、幹事会、月例会など各種会合の企画・運営
- 3 右記会合の出席率を高める活動
- 4 会員名簿を始めとする、各種データベースの製作・管理
- 5 関係諸団体、行政、企業との渉外活動
- 6 「なにわ名物開発考社」の商標管理、会・会員の権利保護に関する業務サポート

広報部会

「広報誌」の発行ならびに对外PR活動、そして会員への広報推進を行っています。インターネットホームページの編集も行いその拡充をはかっています。是非ホームページもぞいでみてください。

<http://www.naniwa-meibutsu.com/>

会員交流部会

3月18日(火)から20日(木)までマイドーム大阪にて開催された大阪ギフトショーに出展しました。東京に比べその規模を比較される「大阪ギフトショー」ですが、今回は初参加の天浅製麺所さんも新商品「なにわ腰抜けうどん」を展示されるなど、大阪の意地を見せる気合いの入ったものとなりました。日本各地からの訪問客で賑わいを見せた3日間となりました。

商品開発部会

次のような活動を中心に、流通、売場の協力的体制づくりに励んでいます。

- 1 会員企業による「商品開発」と「メニュー・サービス開発」のサポート
- 2 「商品開発」「売場開発」等に関する「定例会」の設営及び「商品開発チーム」結成の推進
- 3 「認定委員会」と連携して「なにわ名物開発考社」認定マーク商品の拡大

会 員 紹 介

(有)フバスグループジャパン

当社は東大阪市の、全国的に有名な「花園ラグビー場」の近くにあり、昨年度までは「ラグビー酒場」という居酒屋を花園と新石切で営んでおりましたが、金鉄奈良線の立体高架に伴う駅前の再開発がラグビー酒場のすぐ手前の地域までに決定してしまいました。その事で私は10年以上も閉まっている店舗が過半数の街を大阪のシンボリックな街にしていきたいと思い、まずは20年間シャッターの開かなかつた店舗で4月からお弁当屋を始めました。私自身花園一の借金王となりながらも、そこは量販店との差別化を計る意味で、紙で出来たりサイクルのできる容器を使っています。最近オープンした東大阪市総合庁舎に購入して頂き、まずは役所の建物からゴミを減らしていくことに貢献しています。

そして、私の店舗の回りに様々なやる気を持った商人を集め、お客さんや今の何十倍にもして、ゴミは逆に何十分の一にしていきたいと思っています。興味のある方連絡ください。一緒にひとつのテーマタウンを造りましょう!

東大阪市吉田1-4-20
電話0729(62)6190

株式会社 粟新

明治25年創業以来、「栗おこし」という素材なお菓子を作り続けております。いつか栗おこしが、以前のように大阪名物の地位に復帰することを夢に見ている者です。このたび、栗おこしの新しい形として、こぶし大・丸型の「道頓堀のマリモ」と本物のコーヒー豆を使用したコーヒー味の「眠気おこし」を作らせて頂きました。形や味は新しいものですが、当社の製造技術を活かした商品です。

これからは大阪で唯一の「原料から製品まで(お米から栗おこしまで)」の一貫製造」ができる設備・技術を活かし、伝統的な栗おこしを守りながら新しいお菓子にも挑戦していきたいと考えております。

本店では和風喫茶室にも挑戦しております。材料は全て自家製で、添加物は一切使用しておりません。栗おこし・喫茶とも、こだわりの味是非一度ご賞味ください。

本店：大阪府住吉区上住吉1-11-11
電話06(667)4770
九条店：大阪府西区九条1-16-23(ニンモール九条商店街内)
電話06(6583)2984



株式会社天浅製麺所

創業大正13年、河内の野において、70有余年麵づくり一筋の会社です。うどん・そばをはじめ、各種種類の製造販売を行っています。

近年、「讃岐」のうどんが人気を博しておりますが、私達の町大阪には、昔から大阪のうどんがあります。大阪の製麺所として、大阪のうどんをもっと多くの方に知って頂きたい。そんな想いから、今回「なにわ腰抜けうどん」の開発に着手いたしました。はんなりとしながら、コシもあるうどん、腰が抜けるほど美味しい。そんな大阪のうどんを浪速名物として開発いたしました。現在、商品化の最終段階にあります。その素になる、「大阪うどん」は量販店向けに約8年前より発売し、消費者の皆様にご好評頂いております。

大阪府東大阪市上小阪1-2-15
電話06(672)40255

